

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社ユウカ 南木の南新	階数	地上3F
建設地	八尾市南木の本町八丁目5番、17番	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2017年2月3日
敷地面積	1,456 m ²	作成者	青木あすなる建設株式会社
建築面積	851 m ²	確認日	
延床面積	2,219 m ²	確認者	

本図を右クリックし、「図の表示」を
選択していただくことで、各数値等を
貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 73%

④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.8

Q2 サービス性能: 2.8

Q3 室外環境(敷地内): 2.2

LR1 エネルギー: 3.4

LR2 資源・マテリアル: 2.6

LR3 敷地外環境: 2.8

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.8)

音環境	2.2
温熱環境	2.6
光・視環境	2.8
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性	2.3
耐用性	2.9
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.2)

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.6)

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.8)

地球温暖化	4.0
地域環境	2.4
周辺環境	2.1

3 設計上の配慮事項	
総合 ・外壁に断熱サンドイッチパネル、屋根には50mmのグラスウールを用いる等、建物の断熱性能に配慮した。 また、LED照明を採用し建物内の環境にも配慮した。	その他 ・特になし。
Q1 室内環境 ・外壁に断熱サンドイッチパネル、屋根には50mmのグラスウールを用いる等、建物の断熱性能に配慮し、室内の温熱環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 ・事務室にOAフロアを設け将来的なレイアウトの変更が出来る様配慮した。 ・事務室等の居室の天井高さを2.7m以上とする事で開放感のある空間とし
LR1 エネルギー ・照明器具は消費電力を小さく抑えることのできるLED照明を採用する事で、省エネルギー性に配慮した。	LR2 資源・マテリアル ・トイレの便器を節水型にて選定し水資源の保護に配慮した。
	Q3 室外環境(敷地内) ・3階南西側にルーバルコニーを設け、また食堂から出来る様計画する事で建物内外を連関させる豊かな中間領域の形成を行なっている。
	LR3 敷地外環境 ・敷地内の雨水を一時的に貯留する為、雨水貯留槽を設け地域インフラへの不可抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0141

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)株式会社ユウカ南木の本新工場新築計画					
		建設地	八尾市南木の本八丁目5番、17番、18番、19番					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				2.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								